



## アラーム定義

---

この章では、サービスアビリティ アラーム定義で使用するユーザ情報を検索、表示、および作成する手順について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [アラーム定義の表示およびユーザ指定の記述の追加 \(P.4-2\)](#)
- [アラーム定義のカatalog記述 \(P.4-3\)](#)

アラーム定義には、アラーム メッセージの内容 (メッセージの意味とその回復方法) が記述されません。

アラームに関する情報を入手するには、アラーム定義データベースを検索します。サービス固有のアラームをクリックすると、アラーム情報の説明とその推奨処置が表示されます。

Cisco Unified Presence では、アラーム定義と推奨処置が SQL サーバ データベースに保存されます。システム管理者は、すべてのアラーム定義をこのデータベースで検索できます。定義の内容には、アラーム名、記述、説明、推奨処置、重大度、パラメータ、モニタなどがあります。この情報は、システム管理者が Cisco Unified Presence に発生した問題をトラブルシューティングするときに役立ちます。

## アラーム定義の表示およびユーザ指定の記述の追加

この項では、アラーム定義を検索し、その内容を表示する方法について説明します。

### 手順

---

**ステップ 1** [Alarm] > [Definitions] を選択します。

[Alarm Message Definitions] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [Equals] フィールドからアラーム定義のカタログを選択するか、[Enter Alarm Name] フィールドにアラーム名を入力します。

**ステップ 3** [Find] ボタンをクリックします。

選択したアラーム カatalogの定義リストが表示されます。



**(注)** アラーム定義が複数のページにわたっている場合があります。別のページを表示するには、[Alarm Message Definitions] ウィンドウの下部にある適切なナビゲーション ボタンをクリックしてください。ウィンドウに表示するアラームの数を変更するには、[Rows Per Page] ドロップダウン リスト ボックスで別の値を選択します。

---

**ステップ 4** 表示されたリストの中から、アラームの詳細を表示する定義のハイパーリンクをクリックします。

[Alarm Details] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 5** アラームに情報を追加する場合は、[User Defined Text] ボックスにテキストを入力し、[Update] ボタンをクリックします。

**ステップ 6** [Alarm Message Definitions] ウィンドウに戻るには、[Related Links] ドロップダウン リスト ボックスから [Back to Find/List Alarms] を選択し、[Go] をクリックします。

---


### 追加情報

P.4-3 の「関連項目」を参照してください。

## アラーム定義のカタログ記述

表 4-1 では、アラーム定義のカタログ記述について説明します。

表 4-1 アラーム定義カタログ

名前	説明
CiscoUPSCfgAgent	設定エージェントに対するすべてのアラーム
CiscoUPSPresenceEngine	プレゼンス エンジンに対するすべてのアラーム
CiscoUPSSIPProxy	SIP プロキシに対するすべてのアラーム
CiscoUPSSoap	Cisco Unified Personal Communicator に対するすべての変更通知アラーム
CiscoUPSSyncAgent	同期エージェントに対するすべてのアラーム
DBAlarmCatalog	Cisco データベース (Aupair) に対するすべてのアラーム定義
DRFAlarmsCatalog	障害復旧フレームワークに対するすべてのアラーム定義
GenericAlarmCatalog	すべてのアプリケーションが共有するすべての汎用アラーム定義
JavaApplications	Cisco CallManager Java Applications に対するすべてのアラーム定義   <p>(注) JavaApplications アラームは、アラーム設定のウィンドウからは設定できません。通常、これらのアラームには、これらのアラームをイベント ログに送信して、CiscoWorks2000 との統合に必要な SNMP トラップを生成するための設定を行います。アラーム定義およびパラメータを表示または変更するには、オペレーティング システムに付属のレジストリ エディタを使用してください。</p>
LpmTctCatalog	Log Partition Monitor トレース収集ツールに対するすべてのアラーム
SystemAccessCatalog	プロセスおよびスレッド モニタリングに対するすべてのアラーム
TFTPAlarmCatalog	Cisco TFTP に対するすべてのアラーム定義

## 関連項目

- [アラーム定義の表示およびユーザ指定の記述の追加 \(P.4-2\)](#)
- [アラーム定義のカタログ記述 \(P.4-3\)](#)

